

令和5年度 学校教育目標

【京都市の目指す子ども像】

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」

【京都市令和5年度重視する視点】

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める

【小中一貫教育のテーマ】 未来社会の中でよりよく生きていける力の育成

～自ら律する力・多様性の中での協働力・探究力～

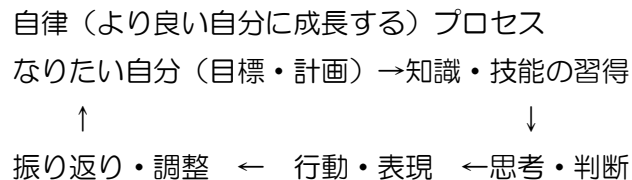
【校 訓】 『豊かな心』

【学校教育目標】「自律（自己指導力の育成）」

協働（相互交流力の育成）

探究（探究する力の育成）

自律・・・自己指導力（自ら律する力）→自己肯定感・自己決定・共感的理解



協働（的な学び）・・・共通の目的を達成するために、多様な他者がお互いの特性を認識・（相互交流力） 尊重し合い対等な立場で、課題の解決に向けて協力・協調する力。また、課題を対話で解決する力。

探究（する力）・・・自ら課題を発見し、解決に導いていける能力。また、その中で新たな価値を創造する力。

（課題を発見し、情報を収集するための「知識」「技能」、情報を整理・分析するための「思考力」「判断力」「表現力」、課題解決の振り返りや計画の再考・調整のための「主体的に学習に取り組む態度」、に他者と一緒に新たな価値を創造するための「多様性」「協働力」を加えたものが、「探究する力」である。）

探究のプロセス

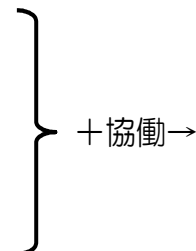
課題解決では、①「課題設定・計画・目標」

②「情報の収集」（知識・技能）

③「整理・分析・表現」（思考・判断・表現）

④「振り返り・学習の調整」

（主体的に学習に取り組む態度）



探究する力
（学びに向かう
力人間性等）

と4つのプロセスがある。この4つのプロセスに多様な価値観との協働を加えた一連の学習の態度・習慣が「学びに向かう力、人間性等（探究する力）」である。

【目指す資質・能力】

- ① **自己指導力** 自己判断・決定力（自己肯定感 共感的理解）
- ② **相互交流力** 協働力・コミュニケーション力（協調性 調整力 表現力 人権尊重 助け合い）
- ③ **探究する力** 課題解決力（課題設定 情報選択 活用力 分析力 論理的思考力 忍耐力
創造力）

【令和5年度本校の重点】～探究・自律のプロセスの基礎基本の確立～

【目指す生徒像】

生徒行動目標 ～人・時・学を大切にできる生徒～

1. 自分を大切に、人を大切にできる生徒
自己指導力・**相互交流力**
2. 自ら学び、自ら律することができる生徒
探究する力・**自己指導力**
3. 互いの多様性を尊重し、対話の中で合意形成ができる生徒 **相互交流力**
4. 健康で心身ともに逞しい生徒 **自己指導力**
5. 時間を計画的に、且つ、有意義に管理できる生徒 **自己指導力**
6. 何事も失敗を恐れず挑戦する生徒 **探究する力**

【目指す学校像】

1. 安全で安心して自分らしく過ごせる学校
 - ・不登校・個別の課題に寄り添った支援と全ての生徒に丁寧な対応
 - ・多様性を尊重し、いじめや差別・偏見を許さない生徒の育成
 - ・自他を大切にできる環境の中で、挑戦する生徒と支える生徒の育成
2. より良い学びに向けての授業改善を推進する学校
 - ・資質能力の育成を目指した、主体的で対話的な深い学びの授業の実践
 - ・ICT等を活用した学習の更なる実践と個別最適な学習の研究
 - ・「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める教育活動
3. 地域や社会に貢献できる生徒を育成する学校
 - ・地域や社会の担い手として未来を創造する生徒の育成
 - ・小中一貫教育のテーマ「未来社会の中でよりよく生きていける力の育成」の実現のため、取組を推進する
 - ・学校と学校運営協議会が連携・協働しながら学校教育目標を推進する



【校訓】

『豊かな心』

多様性の中、自分らしい生き方を探究することで将来、「豊かな心」を育めるよう中学校教育の中で基礎基本を教育することを目指す。

【令和5年度本校の重点】～探究・自律のプロセスの基礎基本の確立～

① 学習指導

- ・課題解決型の授業の実践と研究（総合的な学習の時間を軸としたカリキュラムマネジメントの再構築）
- ・指導と評価の一体化の研究
- ・主体的で対話的な深い学びの実践と研究
- ・更なるICTを活用した学習の研究（個別最適な学習の研究）
- ・家庭学習の定着への実践と研究

② 生徒指導

- ・自ら学び・自ら律する力の育成（個人と組織）
- ・自他を大切にする生徒の育成
- ・挑戦する生徒の育成
- ・不登校・支援を要する生徒への取組
- ・地域や社会に貢献する生徒の育成
- ・多様性を尊重し、いじめや差別・偏見を許さない生徒の育成

③ 教職員

- ・教育目標の具現化に向けての実践
- ・新たな教育を目指して積極的な研修への参加
- ・生徒・保護者に寄り添った丁寧な対応
- ・月45H、年360Hの遵守等働き方改革の推進
- ・コンプライアンスを遵守し、働きやすい職場づくり